

みずほハイブリッド証券 ファンド2016-10 (為替ヘッジあり) (愛称：明日へのとびら)

運用報告書(全体版) 満期償還

(償還日 2020年9月18日)

(作成対象期間 2020年3月19日～2020年9月18日)

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

| | | |
|--------|---|---|
| 商品分類 | 追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券） | |
| 信託期間 | 約3年11カ月間（2016年10月7日～2020年9月18日） | |
| 運用方針 | 信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。 | |
| 主要投資対象 | ベビーファンド | コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド 《2020-09》の受益証券 |
| | コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド《2020-09》 | 世界の企業が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券）および普通社債ならびに先進国の国債 |
| 組入制限 | ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率 | 無制限 |
| | マザーファンドの株式組入上限比率 | 無制限 |
| 分配方針 | 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等の中から分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。 | |

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界のハイブリッド証券等に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近 5 期の運用実績

| 決 算 期 | 基 準 価 額 | | | | 公 社 債 率 組 入 比 率 | 純 資 産 額 |
|--------------------|-------------|---------|-------|----------|--------------------|--------------|
| | (分 配 落) | 税 込 配 金 | 期 騰 落 | 中 率 | | |
| 4 期末 (2018年 9月18日) | 円 10,305 | 円 25 | △ | % 0.4 | % 98.3 | 百万円 4,595 |
| 5 期末 (2019年 3月18日) | 10,292 | 25 | | 0.1 | 93.9 | 4,129 |
| 6 期末 (2019年 9月18日) | 10,241 | 25 | △ | 0.3 | 68.8 | 3,954 |
| 7 期末 (2020年 3月18日) | 10,130 | 25 | △ | 0.8 | 14.9 | 3,653 |
| 償 還 (2020年 9月18日) | 10,124.64 | — | △ | 0.1 | — | 3,157 |

(注 1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注 2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

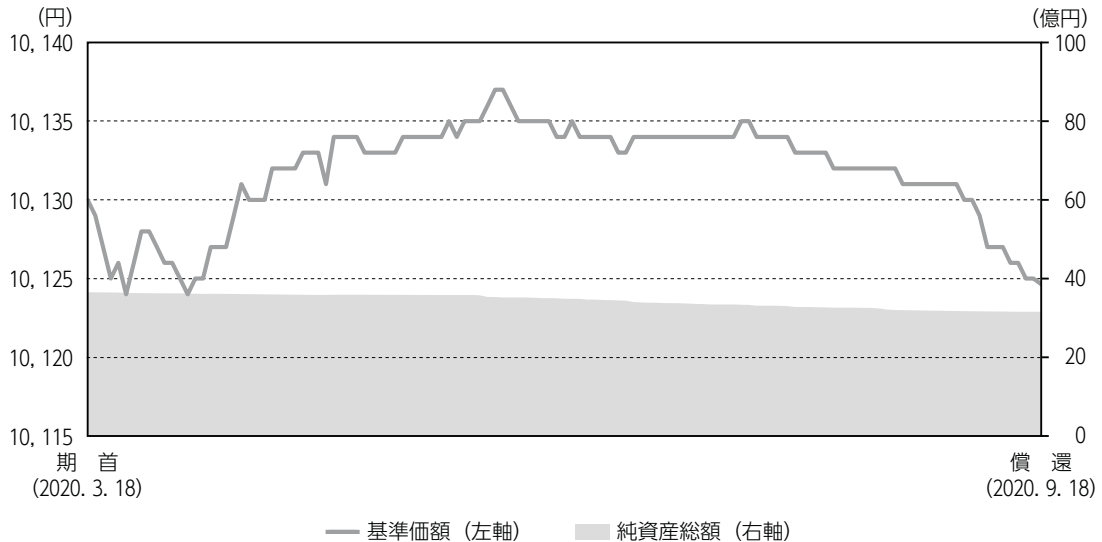
(注 3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。

(注 4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

設定時：10,000円

償還時：10,124円64銭 (既払分配金175円)

騰落率：3.0% (分配金再投資ベース)

■ 基準価額の主な変動要因

世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資した結果、ハイブリッド証券等の金利収入を主因として、基準価額は上昇しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

みずほハイブリッド証券ファンド 2016-10 (為替ヘッジあり)

| 年 月 日 | 基 準 価 額 | | 公 社 債 率 組 入 比 |
|-------------------|-----------|------------|------------------|
| | 円 | 騰 落 率 % | |
| (期 首) 2020年 3月18日 | 10,130 | — | 14.9% |
| 3月末 | 10,128 | △ 0.0 | 15.2 |
| 4月末 | 10,133 | 0.0 | 11.1 |
| 5月末 | 10,135 | 0.0 | 11.2 |
| 6月末 | 10,133 | 0.0 | 10.0 |
| 7月末 | 10,134 | 0.0 | 10.8 |
| 8月末 | 10,131 | 0.0 | 11.4 |
| (償 還) 2020年 9月18日 | 10,124.64 | △ 0.1 | — |

(注) 騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について

(2016. 10. 7 ~ 2020. 9. 18)

■コーポレート・ハイブリッド証券市況

コーポレート・ハイブリッド証券市場は上昇しました。

コーポレート・ハイブリッド証券市場は、当ファンド設定時より、ECB（欧州中央銀行）が実施した資産購入プログラムの効果や欧州各国の国債金利が低位で安定推移したことで、コーポレート・ハイブリッド証券の投資魅力が相対的に評価されたことなどから、2017年10月まで堅調に推移しました。11月から2018年10月までは、トルコの対米関係悪化などの地政学リスクが意識されたことや、株価が下落しリスク回避気運が高まったことなどから、コーポレート・ハイブリッド証券市場は緩やかに下落しました。11月以降も、世界景気の減速懸念が高まったことや英国のEU（欧州連合）離脱をめぐる不透明感の高まりにより、さらに下落しました。その後は、景気減速懸念の高まりを受けて世界的に国債金利が低下したことや、株価の反発によりリスク回避気運が後退したことから、コーポレート・ハイブリッド証券市場は堅調に推移しました。2020年3月以降は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから一時急落したものの、各国金融当局の大胆な金融緩和や各国政府の積極的な景気支援策を受けて急反発し、満期償還を迎えました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

主として、「コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-09>>」を通じて、世界の企業（金融機関を含みます。）が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券）等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。また、保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-09>>

主として、世界の企業が発行するコーポレート・ハイブリッド証券等に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・UK・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

信託期間中のポートフォリオについて

(2016. 10. 7 ~ 2020. 9. 18)

■当ファンド

「コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-09>>」の受益証券組入比率を高位に維持し、為替変動リスク低減のために為替ヘッジを行いました。

マザーファンドが保有するコーポレート・ハイブリッド証券は予想通りに繰上償還が進みましたが、2019年4月以降、コーポレート・ハイブリッド証券が満期もしくは繰上償還した後の再投資において諸コスト控除後の収益を確保できる投資対象が限られたため、マザーファンドの組入比率を徐々に引き下げ、現金比率を徐々に高めました。

■コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-09>>

主として、世界の企業が発行するコーポレート・ハイブリッド証券等に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・UK・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

1万口当り、第1期～第7期各25円の収益分配を行いました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

1 万口当りの費用の明細

| 項 目 | 当 期 (2020. 3. 19~2020. 9. 18) | | 項 目 の 概 要 |
|---------------|----------------------------------|---------|---|
| | 金 額 | 比 率 | |
| 信 託 報 酬 | 38円 | 0.370% | 信託報酬=当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,132円です。 |
| (投 信 会 社) | (5) | (0.049) | 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価 |
| (販 売 会 社) | (31) | (0.305) | 販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 |
| (受 託 会 社) | (2) | (0.017) | 受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| 売 買 委 託 手 数 料 | — | — | 売買委託手数料=当作成期中の売買委託手数料/当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| 有 価 証 券 取 引 税 | — | — | 有価証券取引税=当作成期中の有価証券取引税/当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金 |
| そ の 他 費 用 | 0 | 0.003 | その他費用=当作成期中のその他費用/当作成期中の平均受益権口数 |
| (保 管 費 用) | (0) | (0.001) | 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 |
| (そ の 他) | (0) | (0.002) | 信託事務の処理等に関するその他の費用 |
| 合 計 | 38 | 0.373 | |

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

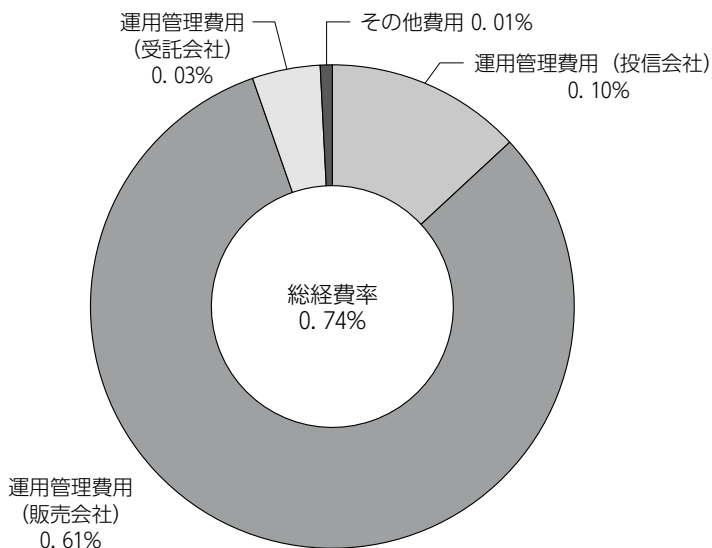
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含まず。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.74%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2020年3月19日から2020年9月18日まで)

| | 設 定 | | 解 約 | |
|-----------------------------------|-----|-----|---------|---------|
| | 口 数 | 金 額 | 口 数 | 金 額 |
| | 千口 | 千円 | 千口 | 千円 |
| コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-09>> | — | — | 684,449 | 770,047 |

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

| 種 類 | 期 首 | |
|-----------------------------------|---------|----|
| | 口 数 | 千口 |
| コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-09>> | 684,449 | |

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2020年9月18日現在

| 項 目 | 償 還 時 | |
|--------------|-----------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| コール・ローン等、その他 | 3,170,450 | 100.0 |
| 投資信託財産総額 | 3,170,450 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年9月18日現在

| 項 目 | 償 還 時 |
|-------------------|----------------|
| (A) 資産 | 3,170,450,457円 |
| コール・ローン等 | 3,170,450,457 |
| (B) 負債 | 13,014,626 |
| 未払信託報酬 | 12,946,806 |
| 未払利息 | 42,545 |
| その他未払費用 | 25,275 |
| (C) 純資産総額 (A - B) | 3,157,435,831 |
| 元本 | 3,118,565,321 |
| 償還差損益金 | 38,870,510 |
| (D) 受益権総口数 | 3,118,565,321口 |
| 1万口当り償還価額 (C / D) | 10,124円64銭 |

* 期首における元本額は3,606,210,988円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は487,645,667円です。

* 償還時の計算口数当りの純資産額は10,124円64銭です。

■損益の状況

当期 自2020年3月19日 至2020年9月18日

| 項 目 | 当 期 | |
|-----------------------|-----|------------|
| (A) 配当等収益 | △ | 795,319円 |
| 受取利息 | | 80,834 |
| 支払利息 | △ | 876,153 |
| (B) 有価証券売買損益 | | 12,163,680 |
| 売買益 | | 87,380,613 |
| 売買損 | △ | 75,216,933 |
| (C) 信託報酬等 | △ | 13,010,225 |
| (D) 当期損益金 (A + B + C) | △ | 1,641,864 |
| (E) 前期繰越損益金 | | 41,289,295 |
| (F) 追加信託差損益金 | △ | 776,921 |
| (配当等相当額) | (| 2,737,766) |
| (売買損益相当額) | (△ | 3,514,687) |
| (G) 合計 (D + E + F) | | 38,870,510 |
| 償還差損益金 (G) | | 38,870,510 |

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 投資信託財産(親投資信託)の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用: 858,756円(未監査)

投資信託財産運用総括表

| | | | | | |
|-------|----------------|----------------|-----------------|--------------|----------------|
| 信託期間 | 投資信託契約締結日 | 2016年10月7日 | | 投資信託契約終了時の状況 | |
| | 投資信託契約終了日 | 2020年9月18日 | | 資産総額 | 3,170,450,457円 |
| 区分 | 投資信託 契約締結当初 | 投資信託 契約終了時 | 差引増減又は 追加信託 | 負債総額 | 13,014,626円 |
| | | | | 純資産総額 | 3,157,435,831円 |
| 受益権口数 | 4,644,819,388口 | 3,118,565,321口 | △1,526,254,067口 | 受益権口数 | 3,118,565,321口 |
| 元本額 | 4,644,819,388円 | 3,118,565,321円 | △1,526,254,067円 | 1単位当り償還金 | 10,124円64銭 |

毎計算期末の状況

| 計算期 | 元本額 | 純資産総額 | 基準価額 | 1単位当り分配金 | |
|-----|---------------|---------------|--------|----------|------|
| | | | | 金額 | 分配率 |
| | 円 | 円 | 円 | 円 | % |
| 第1期 | 6,164,030,982 | 6,234,941,544 | 10,115 | 25 | 0.25 |
| 第2期 | 5,592,530,260 | 5,777,719,478 | 10,331 | 25 | 0.25 |
| 第3期 | 4,944,067,964 | 5,129,167,547 | 10,374 | 25 | 0.25 |
| 第4期 | 4,459,506,512 | 4,595,576,381 | 10,305 | 25 | 0.25 |
| 第5期 | 4,012,634,631 | 4,129,683,880 | 10,292 | 25 | 0.25 |
| 第6期 | 3,861,697,632 | 3,954,601,357 | 10,241 | 25 | 0.25 |
| 第7期 | 3,606,210,988 | 3,653,058,213 | 10,130 | 25 | 0.25 |

(注) 1単位は受益権1万口。

償還金のお知らせ

1万口当り償還金

10,124円64銭

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-09>>

運用報告書 満期償還 (償還日 2020年9月17日)

(作成対象期間 2020年3月19日～2020年9月17日)

コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド<<2020-09>>の運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

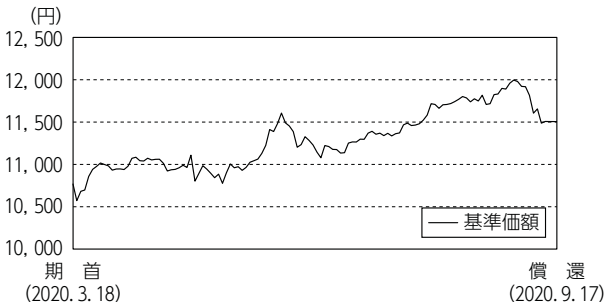
| | |
|--------|---|
| 運用方針 | 信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。 |
| 主要投資対象 | 世界の企業が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券）および普通社債ならびに先進国の国債 |
| 株式組入制限 | 無制限 |

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



| 年月日 | 基準価額 | | 公社債 組入比率 |
|-----------------|-----------|----------|-------------|
| | 円 | 騰落率 % | |
| (期首) 2020年3月18日 | 10,773 | — | 73.6 |
| 3月末 | 10,999 | 2.1 | 87.4 |
| 4月末 | 10,964 | 1.8 | 93.5 |
| 5月末 | 11,063 | 2.7 | 93.1 |
| 6月末 | 11,138 | 3.4 | 91.6 |
| 7月末 | 11,583 | 7.5 | 91.2 |
| 8月末 | 11,890 | 10.4 | 90.8 |
| (償還) 2020年9月17日 | 11,505.82 | 6.8 | — |

- (注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

設定時：10,000円 償還時：11,505円82銭 騰落率：15.1%

【基準価額の主な変動要因】

世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資した結果、為替市場で主要通貨に対して円安が進行したことに加えて、ハイブリッド証券等の金利収入を主因として、基準価額は上昇しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

◆設定以来の投資環境について

○コーポレート・ハイブリッド証券市況

コーポレート・ハイブリッド証券市場は上昇しました。

コーポレート・ハイブリッド証券市場は、当ファンド設定時より、ECB(欧州中央銀行)が実施した資産購入プログラムの効果や欧州各国の国債金利が低位で安定推移したことで、コーポレート・ハイブリッド証券の投資魅力が相対的に評価されたことなどから、2017年10月まで堅調に推移しました。11月から2018年10月までは、トルコの対米関係悪化などの地政学リスクが意識されたことや、株価が下落しリスク回避気運が高まったことなどから、コーポ

レート・ハイブリッド証券市場は緩やかに下落しました。11月以降も、世界景気の減速懸念が高まったことや英国のEU(欧州連合)離脱をめぐる不透明感の高まりにより、さらに下落しました。その後は、景気減速懸念の高まりを受けて世界的に国債金利が低下したことや、株価の反発によりリスク回避気運が後退したことから、コーポレート・ハイブリッド証券市場は堅調に推移しました。2020年3月以降は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことなどから一時急落したものの、各国金融当局の大胆な金融緩和や各国政府の積極的な景気支援策を受けて急反発し、満期償還を迎えました。

○為替相場

主要通貨に対して総じて円安が進行しました。

対円為替相場は、当ファンド設定時より小動きが続いた後、2016年11月にトランプ氏が米国大統領選挙に勝利すると、市場の想定外であったことから、米国長期金利の上昇とともに円売り圧力が強まりました。2017年以降は、米国の段階的な利上げが緩やかなペースにとどまったことや、ECB(欧州中央銀行)の金融緩和などにより、円の下落幅は限定されました。2020年2月下旬以降は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により投資家のリスク回避気運が高まり3月上旬までは円高が進行したものの、3月中旬から下旬にかけて、米国政府が大型の景気刺激策を打ち出したことや米ドルの需給が逼迫したことを受けて、円安に振れました。その後は、米国金融当局の積極的な流動性供給や米中関係の悪化、米国の金融緩和が長期化するとの観測が米ドル高を抑制した結果、円の値が堅い展開が続きました。償還時の主要通貨は設定時と比べて円安となりました。

◆信託期間中の運用方針

主として、世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・U K・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

◆信託期間中のポートフォリオについて

主として、世界の企業が発行するコーポレート・ハイブリッド証券等に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・U K・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

■1万口当りの費用の明細

| 項目 | 当期 |
|-----------------|----------|
| 売買委託手数料 | —円 |
| 有価証券取引税 | — |
| その他費用 (保管費用) | 1 (1) |
| (その他) | (0) |
| 合計 | 1 |

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況
公 社 債

(2020年3月19日から2020年9月17日まで)

| | | 買付額 | | 売付額 | |
|-----------------|---------------|-----------|-----------|------|------|
| | | 千イギリス・ポンド | 千イギリス・ポンド | 千ユーロ | 千ユーロ |
| 外 | イギリス | — | — | — | — |
| | 社債券 | — | (7,354) | — | — |
| 国 | ユーロ (オランダ) | — | — | — | — |
| | 社債券 | — | (2,700) | — | — |
| 国 | ユーロ (その他) | — | — | — | — |
| | 社債券 | — | (2,000) | — | — |
| ユーロ (ユーロ通貨計) | | — | — | — | — |
| 社債券 | | — | (4,700) | — | — |

- (注1) 金額は受渡し代金(経過利分は含まれておりません)。
 (注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
 (注3) 社債券には新株予約権付社債券(転換社債券)は含まれておりません。
 (注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

当作成期における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2020年9月17日現在

| 項 目 | 償 還 時 | |
|--------------|-----------|-------|
| | 評 価 額 | 比 率 |
| | 千円 | % |
| コール・ローン等、その他 | 1,105,422 | 100.0 |
| 投資信託財産総額 | 1,105,422 | 100.0 |

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年9月17日現在

| 項 目 | 償 還 時 |
|-------------------|----------------|
| (A)資産 | 1,105,422,703円 |
| コール・ローン等 | 1,105,422,703 |
| (B)負債 | 2,995 |
| 未払利息 | 2,725 |
| その他未払費用 | 270 |
| (C)純資産総額 (A - B) | 1,105,419,708 |
| 元本 | 960,748,630 |
| 償還差損益金 | 144,671,078 |
| (D)受益権総口数 | 960,748,630口 |
| 1万口当り償還価額 (C / D) | 11,505円82銭 |

- * 期首における元本額は1,906,306,966円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は945,558,336円です。
 * 償還時における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、みずほハイブリッド証券ファンド2016-10(為替ヘッジあり)337,262,289円、みずほハイブリッド証券ファンド2017-04(為替ヘッジあり)623,486,341円です。
 * 償還時の計算口数当りの純資産額は11,505円82銭です。

■損益の状況

当期 自2020年3月19日 至2020年9月17日

| 項 目 | 当 期 |
|----------------------|--------------|
| (A)配当等収益 | 35,286,054円 |
| 受取利息 | 35,481,326 |
| 支払利息 | △ 195,272 |
| (B)有価証券売買損益 | 56,633,177 |
| 売買益 | 62,444,065 |
| 売買損 | △ 5,810,888 |
| (C)その他費用 | △ 95,022 |
| (D)当期損益金 (A + B + C) | 91,824,209 |
| (E)前期繰越損益金 | 147,288,533 |
| (F)解約差損益金 | △ 94,441,664 |
| (G)合計 (D + E + F) | 144,671,078 |
| 償還差損益金 (G) | 144,671,078 |

(注) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。